

# 脳神経外科

中島 伸

脳神経外科では主に脳・脊髄腫瘍、脳血管障害、小児脳神経外科、頭部外傷などを扱い、年間手術件数は2009年が359件、2010年が392件、そして昨年が383件です。

脳腫瘍については、3次元画像とニューロナビゲーターを駆使した手術に加え、必要に応じて化学療法、放射線療法、免疫療法、Xナイフ、血管内治療を併用します。また不幸にして末期状態に至ったとしても、個々の患者様の状態に応じて、私どものできる手段を尽くすことを心がけています。

脳血管障害に対しては、脳卒中内科と協力して24時間体制で対応しております。脳卒中の患者様に対しては、必要に応じて、開頭手術、血管内治療、超急性期血栓溶解療法などの治療手段を選択し、発症からできるだけ早期にリハビリテーションを開始するとともに、地域連携パスを利用して後方病院でのスムーズな治療の継続を図っています。

一方、当院には日本でも数少ない小児脳神経外科医がいることも特徴で、水頭症や二分脊椎など先天性疾患の新生児に対する緊急手術も数多く行っています。特に二分脊椎に対しては、手術後や成人期になってもトータルケアができるように神経因性膀胱の専門医、褥瘡専門看護師、外来看護師との協力で二分脊椎外来（完全予約制）を行っています。

頭部外傷については救急医と連携しており、脳神経外科医単独では対応困難な多発外傷に対しても積極的に受け入れています。個々の外傷患者様の背景や病態は様々ですが、それぞれに最善と考えられる治療方針をとっています。

研修医、レジデント教育に力を入れているのも当科の特徴です。毎週の症例検討会のほかに救急医との合同症例検討会、リハビリテーションカンファレンス、抄読会などを行っています。特に手術症例検討会においては、レジデントがその週に行った手術のビデオを提示し、手術戦略や個々の手技の妥当性などを議論する場としています。普段、何気なく行っているセッティングや手術操作に関しても、言語化を試みることによって、その意味が明確になり、また知識や考え方を皆が共有できるというメリットがあります。また顕微鏡手術は日常的な練習が大切なので、医局で実体顕微鏡を購入し、シリコンモデルや鶏肉を用いた卓上での組織剥離・血管吻合の練習を奨励しています。

学会発表についても活発に行っており、順次、論文化して国内外の医学雑誌に発表しています。

脳神経外科では、患者様には「この病院に来て良かった」と言ってもらい、紹介元の先生には「この病院に紹介して良かった」と思ってもらい、そして職員自身も「この病院で働いて良かった」と感じてもらえるよう、これからも全力を尽くしたいと考えています。(紹介文本文 1102字)

## 【2011年度研究発表業績】

### A-0

Bamba Y, Nonaka M, Nakajima S, Yamasaki M. Three dimensional-reconstructed CT-MR fusion image-based preoperative planning for surgical procedures for spinal lipoma or tethered spinal cord after myelomeningocele (MMC) repair. *Neurol Med Chir(Tokyo)*;51(5):397-402, (2011年5月)

Yamanaka K, Ishihara M, Nakajima S, Yamasaki M, Yoshimine T. Coil embolization of a traumatic

intracranial aneurysm of the distal part of the azygos anterior cerebral: Report of a case followed up for 4 years. *Neurol Med Chir(Tokyo)*;51 (8) :572-575 , (2011 年 8 月)

Irie Y, Saeki M, Tanaka H, Kanemura Y, Otake S, Ozono Y, Nagai T, Kondo Y, Kudo K, Kamisaki Y, Miki N, Taira E. Methamphetamine induces endoplasmic reticulum stress related gene CHOP/Gadd153/ddit3 in dopaminergic cells. *Cell Tissue Res* ;345(2):231-241, (2011 年 8 月)

Yamanaka K, Ishihara M, Nakajima S, Yamasaki M, Yoshimine T. Brain abscess following intra-arterial thrombolytic treatment for acute brain ischemia: A case report. *Jornal of Clinical Neuroscience*; 18:968-970(2011 年 9 月)

Kanematsu D, Shofuda T, Yamamoto A, Ban C, Ueda T, Yamasaki M, Kanemura Y. Isolation and cellular properties of mesenchymal cells derived from the decidua of human term placenta. *Differentiation* ;82(2):77-88 (2011 年 9 月)

Yamane J, Ishibashi S, Sakaguchi M, Kuroiwa T, Kanemura Y, Nakamura M, Miyoshi H, Sawamoto K, Toyama Y, Mizusawa H, Okano H. Transplantation of human neural stem/progenitor cells overexpressing Galectin-1 improves functional recovery from focal brain ischemia in the Mongolian gerbil. *Mol Brain*; 4(1):35 (2011 年 9 月)

Yamasaki M, Nonaka M, Suzumori N, Nakamura H, Fujita H, Namba A, Kamei Y, Yamada T, Pooh RK, Tanemura M, Sudo N, Nagasaka M, Yoshioka E, Shofuda T, Kanemura Y. Prenatal molecular diagnosis of a severe type of L1 syndrome (X-linked hydrocephalus). *J Neurosurg Pediatr*; 8(4):411-6 (2011 年 10 月)

Yamanaka K, Yamamoto A, Usguda K, Matsuzaki J, Ozaki T, Ishihara M, Shimahara Y, Nakajima S, Sadamitsu D, Yamasaki M. Successful endovascular therapy of a penetrating zone III jugular bulb injury. Case Report. *Interventional Neuroradiology*; published online (2011 年 11 月)

Yamasaki M, Nonaka M, Bamba, Y, Teramoto,C, Ban C: Pooh R. Diagnosis, Treatment, and Long-Term Outcomes of Fetal Hydrocephalus Seminars in fetal & Neonatal Medicine; in press

Takenouchi T, Nakazawa M, Kanemura Y, Shimozato S, Yamasaki M, Takahashi T, Kosaki K. Hydrocephalus with Hirschsprung Disease: Severe End of X-linked Hydrocephalus Spectrum. *Am J Med Genet A*;in press

#### A-1

山崎麻美 : 水頭症「リハビリテーションポケットマニュアル」診断と治療社、東京、2011 年 6 月

#### A-2

金村米博 : 悪性グリオーマに対する樹状細胞ワクチン療法の臨床研究について「免疫細胞治療Ⅱ」

安元公正、82-83、幻冬舎メディアコンサルティング，2011年3月23日

山崎麻美：小児水頭症の病態と治療「ビジュアル脳神経外科 Anatomy& Surgical Approach4 脳室・松果体」154-161、メディカル・ビュー社、東京、2011年4月1日

### A-3

山崎麻美、埜中正博、馬場庸平、寺元千佳、伴 千秋、夫 律子：胎児期水頭症の診断と治療および長期予後「脳神経外科ジャーナル」20(5):322-329, 2011年5月

吉龍澄子、金村米博：ヒト真皮線維芽細胞の分化能評価「日本形成外科学会誌」31(7):453-461、2011年7月

### A-4

山崎麻美、押田奈都、埜中正博：虐待による乳幼児頭部外傷を事故による頭部外傷の鑑別「小児科診療」74(10)：1501-1507、2011年10月1日

山崎麻美：遺伝性水頭症「周産期医学」41(11)：1505-1508、2011年11月10日

山崎麻美、埜中正博：抱いていた乳児をフローリングの床におとしたことで頭蓋内出血が起きますか。乳幼児が畳の上で転んで頭蓋内出血が起きますか。「小児内科」43: 877-880 2011年12月10日

福角勇人、金村米博：ヒト ES/iPS 細胞の無フィーダー細胞培養技術の開発「医学のあゆみ」239(14):11079-11085, 2011年12月

山崎麻美：メディカの本棚から「BRAIN NURSING」28(2)：83、2012年2月1日 メディカ出版

### A-5

金村米博：難治性脳形成障害症患者由来生体試料の収集とそのバンク化に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成22年度総括・分担研究報告書、P.47-49、2011年3月

金村米博：難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築。厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）「難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築」平成22年度総括・分担研究報告書、P.1-3、2011年4月

金村米博、正札智子、松田一己：てんかん患者由来 iPS 細胞および神経幹細胞の樹立。厚生労働科学研究費補助金（創薬基盤推進研究事業）「難治性てんかん患者由来 iPS 細胞を用いた新規創薬基盤の構築」平成22年度総括・分担研究報告書、P.17-23、2011年4月

山崎麻美:胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成。厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)「胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成」平成22年度総括・分担研究報告書、P.9-16、2011年3月

#### A-6

山崎麻美:子ども頭部外傷をみたときの注意点―虐待と事故との鑑別について「大阪府女医会報」vol.122 P.7、2011年8月10日

山崎麻美:女性医師の勤務環境改善をめざして「NHO NEW WAVE」vol.5、2011年Summer

中島 伸:医療における天・地・人 「レジデントノート」13(1):167-169、2011年4月

中島 伸:停電だ! 「レジデントノート」13(3):603-605、2011年5月

中島 伸:睡眠時無呼吸症候群について(その1) 「レジデントノート」13(4):771-773、2011年6月

中島 伸:睡眠時無呼吸症候群について(その2) 「レジデントノート」13(5):939-941、2011年7月

中島 伸:初期診療トライアル(その1)「レジデントノート」13(7):1287-1289、2011年8月

中島 伸:初期診療トライアル(その2)「レジデントノート」13(8):1477-1479、2011年9月

中島 伸:軽傷くも膜下出血の診断 「レジデントノート」13(9):1650-1652、2011年10月

中島 伸:知って得する疾患 「レジデントノート」13(11):2134-2136、2011年11月

中島 伸:ワールドカフェに行ってきた 「レジデントノート」13(12):2320-2322、2011年12月

中島 伸:日常生活の中の非日常 「レジデントノート」13(13):2494-2496、2012年1月

中島 伸:片側の眼瞼下垂 「レジデントノート」13(15):2876-2878、2012年2月

中島 伸:モック・トライアル(その1) 「レジデントノート」13(16):3040-3042、2012年3月

中島 伸:脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室(第14回)「脳神経外科速報」21(4):453、2011年4月

中島 伸:脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室(第15回)「脳神経外科速報」21(5):575、2011年5月

中島 伸:脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室(第16回)「脳神経外科速報」21(6):691、2011年6月

中島 伸：脳外科 Q&A 明るいなやみ相談室（第 18 回）「脳神経外科速報」21(8):931、2011 年 8 月

## **B-1**

Yamasaki M, Oshida N, Nonaka M. Evaluation of clinical findings of pediatric abusive head trauma. The 23<sup>rd</sup> annual meeting of KSPN 2011 JSPN-KSPN JOINT MEETING, Seoul, Korea, 2011 年 5 月

Yamasaki M, Shofuda T, Bamba Y, Yoshioka E, Nonaka M, Kanemura Y. Stem cell research in severe type of L1CAM syndrome(X-linked hydrocephalus). Society for research into hydrocephalus and spina bifida 55<sup>th</sup> Annual meeting, Nottingham, UK, 2011 年 6 月

Yamasaki M

Application of iPS cells in neuroncology. 13<sup>th</sup> Asian australasian congress of neurological Surgeons, Taipei, Taiwan, 2011 年 12 月

Kanemura Y. iPS in neurooncology. Taipei VGH and NYMU Brain Tumor Symposium 2011, Taipei, Taiwan, 2011 年 12 月

## **B-2**

Fukusumi H, Shofuda T, Kanematsu D, Yamamoto A, Suemizu H, Nakamura M, Yamasaki M, Sasai Y, Kanemura Y. Generation of human induced pluripotent stem cells using the extracellular matrix of human decidua-derived mesenchymal cells. ISSCR 9th Annual Meeting. Toronto, Ontario, Canada, 2011 年 6 月

Hirata M, Hayashida M, Tateyama D, Ozawa Y, Matsumura H, Iemura M, Shofuda T, Kanemura Y, Kohara A, Kawabata K, Mizuguchi H. Furue. MK: Comparative analysis of characteristics among human iPS, ES and neuroblastoma cell lines. ISSCR 9th Annual Meeting. Toronto, Ontario, Canada, 2011 年 6 月

Yamasaki M, Nonaka M, Kanemura Y, Pooh R. For the establishing of criteria in prenatal diagnosis of intractable fetal brain malformation. 39<sup>th</sup> Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery, Goa, India, 2011 年 10 月

Nonaka M, Teramoto C, Yamasaki M :Application of the Miethke ProGAV valve for children under one year old. 39<sup>th</sup> Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery, Goa, India, 2011 年 10 月

Tatebayashi M, Teramoto C, Nonaka M, Yamasaki M. Study on support of prenatally diagnosed children with congenital hydrocephalus by occupational therapists. Annual meeting of the international society for pediatric neurosurgery, Goa, India, 2011 年 10 月

Kanemura Y, Shofuda T, Kanematsu D, Matsumoto Y, Yamamoto A, Nonaka M, Moriuchi S, Nakajima S, Suemizu H, Nakamura M, Okada Y, Okano H, Yamasaki M. In vitro chemosensitivity of human glioma stem cells compared with that of normal neural stem cells from human iPS cells. 2011 SNO 16th Annual Scientific Meeting, Orange County, California, USA, 2011 年 11 月

### B-3

山崎麻美、埜中正博：乳幼児急性硬膜下血腫-事故と虐待の鑑別。第 53 回日本小児神経学会総会、横浜、2011 年 5 月

山崎麻美、金村米博、埜中正博、夫 律子：遺伝的要因による胎児期水頭症。遺伝医学合同学術集会 2011、京都、2011 年 6 月

埜中正博：三次元融合画像とナビゲーションガイド下に留置したマーカーを利用した計画的神経膠腫摘出術。第 16 回日本脳腫瘍の外科学会、横浜、2011 年 9 月

金村米博、山崎麻美：難治性脳形成障害症の分子病態の解析と新規分子診断法および治療技術の開発。社団法人日本脳神経外科学会第 70 回学術総会、横浜、2011 年 10 月

埜中正博、横田千里、角野喜則、木谷知樹、押田奈都、森 康輔、山中一功、中島 伸、山崎麻美、吉峰俊樹：乳児期と小児期水頭症に対する内視鏡治療の選択。社団法人日本脳神経外科学会第 70 回学術総会、横浜、2011 年 10 月

埜中正博、押田奈都、横田千里、木谷知樹、森 康輔、中島 伸、山崎麻美、吉峰俊樹：先天性及び小児期の水頭症に対する内視鏡第三脳室底開窓術の長期治療成績。第 18 回日本神経内視鏡学会、岡山、2011 年 11 月

Nonaka M：Abusive head trauma in Japan。Mark Dias 先生を囲んで小児虐待による頭部外傷に関するシンポジウム、東京、2012 年 2 月

### B-4

寺元千佳、埜中正博、押田奈都、横田千里、山崎麻美：脊髄髄膜瘤の子どもたちの排尿・排便管理の実態調査。第 28 回日本二分脊椎研究会、神戸、2011 年 7 月

竹林みよ子、寺元千佳、押田奈都、埜中正博、山崎麻美：出生前に診断された二分脊椎症児に対する支援の検討。第 28 回日本二分脊椎研究会、神戸、2011 年 7 月

山崎麻美、押田奈都、埜中正博：虐待による頭部外傷 AHT:abusive head trauma の検討。第 3 回日本こども虐待医学研究会・学術集会、小倉（北九州）、2011 年 7 月 24 日

森康輔、埜中正博、山際啓典、山中一功、横田千里、角野喜則、木谷知樹、押田奈都、中島 伸、山崎麻美、吉峰俊樹：合併症低減を目指した外減圧術の方法。社団法人日本脳神経外科学会第 70 回学術総会、横浜、2011 年 10 月

森康輔、埜中正博、山際啓典、山中一功、横田千里、角野喜則、木谷知樹、押田奈都、中島 伸、山崎麻美、吉峰俊樹：合併症低減を目指した外減圧術の方法。社団法人日本脳神経外科学会第 70

回学術総会、横浜、2011年10月

山崎麻美、埜中正博、押田奈都、角野喜則、馬場庸平、中島 伸：小児虐待による頭部外傷の臨床分析。社団法人日本脳神経外科学会第70回学術総会、横浜、2011年10月

木谷知樹、埜中正博、金村米博、横田千里、角野喜則、押田奈都、森 康輔、山中一功、中島 伸、山崎麻美：脳腫瘍生検術における内視鏡下生検術の侵襲度および診断率に関する考察。社団法人日本脳神経外科学会第70回学術総会、横浜、2011年10月

横田千里、埜中正博、角野喜則、木谷知樹、馬場庸平、押田奈都、森 康輔、金村米博、山中一功、中島 伸、山崎麻美：水頭症に合併した脊髄空洞症に対する内視鏡下第三脳室底開窓術の有用性の検討。社団法人日本脳神経外科学会第70回学術総会、横浜、2011年10月

角野喜則、埜中正博、金村米博、正札智子、馬場庸平、永野大輔、山崎麻美、中島 伸：高齢者悪性神経膠腫に対する遺伝子解析とテーラーメイド治療への応用の検討。社団法人日本脳神経外科学会第70回学術総会、横浜、2011年11月

森内秀祐、宮武伸一、神垣 隆、金村米博、寺本佳史、出原 誠、山田公人、福屋章悟、小林啓作、種子田護、吉峰俊樹：膠芽腫に対する細胞免疫療法とホウ素中性子捕捉療法併用療法の有効性について。第29回日本脳腫瘍学会学術集会、岐阜、2011年11月

金村米博、正札智子、兼松大介、松本有佳子、山本篤世、埜中正博、森内秀祐、中島 伸、末水洋志、中村雅登、岡田洋平、岡野栄之、山崎麻美：ヒトiPS細胞を応用したヒトグリオーマ幹細胞の薬剤感受性評価。第29回日本脳腫瘍学会学術集会、岐阜、2011年11月

森 鑑二、金村米博、正札智子、泉本修一、埜中正博、森内秀祐、中島 伸、山崎麻美、有田憲生：膠芽腫におけるMGMT遺伝子promoter領域メチル化の定量的評価の試み。第29回日本脳腫瘍学会学術集会、岐阜、2011年11月

埜中正博、馬場庸平、横田千里、木谷知樹、押田奈都、森 康輔、金村米博、山崎麻美、中島 伸、吉峰俊樹：三次元融合画像とナビゲーションガイド下に留置したマーカーを利用した神経膠腫摘出術。第29回日本脳腫瘍学会学術集会、岐阜、2011年11月

横田千里、埜中正博、押田奈都、木谷知樹、中島 伸、山崎麻美：先天性疾患に伴う脊髄空洞症を合併した水頭症に対する内視鏡下第三脳室底開窓術が有効であった3例。第18回日本神経内視鏡学会、岡山、2011年11月

横田千里、埜中正博、楠木重範、中島 伸、多和昭雄、山崎麻美：診断に苦慮した急性白血病の中脳神経再発例。第29回日本こども病院神経外科医会、大阪、2011年11月

押田奈都、埜中正博、横田千里、中島 伸、山崎麻美：脊髄髄膜瘤に伴う水頭症に対して ETV、シヤント抜去を行った 6 例の検討。第 29 回日本こども病院神経外科医会、大阪、2011 年 11 月

埜中正博、押田奈都、横田千里、木谷知樹、森 康輔、中島 伸、山崎麻美：乳児期の水頭症に対する Aesculap ProGAV バルブの使用経験と本システム使用時の工夫。第 29 回日本こども病院神経外科医会、大阪、2011 年 11 月

埜中正博：三次元融合画像とナビゲーションガイド下に留置したマーカーを利用した神経膠腫摘出術。脳神経外科手術と機器学会、大阪、2012 年 3 月

## **B-5**

山崎麻美：小児頭部外傷への対応。第 20 回 東海外来小児科学研究会、名古屋、2011 年 4 月

山崎麻美：小児虐待による頭部外傷。第 7 回大阪脳神経外科救急研究会、大阪、2011 年 7 月

埜中正博、馬場庸平、角野喜則、押田奈都、森 康輔、山崎麻美、中島 伸：頭蓋底外科領域における三次元融合画像を用いた手術シュミレーションの有用性。第 23 回日本頭蓋底外科学会、大阪、2011 年 6 月

## **B-6**

角野喜則、埜中正博、永野大輔、馬場庸平、押田奈都、金村米博、山中一功、山崎麻美、中島 伸：錐体骨部分削除を併用した側頭下経由法にて摘出した海馬びまん性神経膠腫の一例。第 61 回日本脳神経外科学会近畿支部会、大阪、2011 年 4 月

永野大輔、埜中正博、角野喜則、馬場庸平、押田奈都、森康輔、金村米博、山中一功、中島 伸、山崎麻美：内視鏡下第三脳室底開窓術を実施することでシヤント抜去に至った脊髄髄膜瘤随伴水頭症の一例。第 61 回日本脳神経外科学会近畿支部会、大阪、2011 年 4 月

横田千里：柔道外傷により急性硬膜下血腫を来した 2 例。第 7 回大阪脳神経外科救急研究会、大阪、2011 年 7 月

## **B-7**

森 康輔、山中一功、角野喜則、押田奈都、横田千里、木谷知樹、金村米博、埜中正博、中島 伸、山崎麻美：Neuronavigation software “iPlan”を使用した無造影頸動脈 STENT 留置術（CAS）。第 71 回大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会、大阪、2011 年 7 月

山崎麻美：虐待による外傷性脳損傷の実態。科学技術振興（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）犯罪からの子どもの安全シンポジウム「客観的に虐待を判別する」、大阪、2011 年 12 月

埜中正博、押田奈都、横田千里、木谷知樹、森 康輔、金村米博、山中一功、中島 伸、山崎麻美：細隙脳室症候群（slit ventricle syndrome）に対し内視鏡下第三脳室底開窓術を行った一例。第 72 回



大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会、大阪、2012年1月

埜中正博、押田奈都、横田千里、木谷知樹、森 康輔、金村米博、山中一功、中島 伸、山崎麻美：  
細隙脳室症候群（slit ventricle syndrome）に対し内視鏡下第三脳室底開窓術を行った一例。第72回  
大阪大学脳神経外科関連施設臨床懇話会、大阪、2012年1月

## **B-8**

中島 伸：診療部門の状況。国立病院機構近畿ブロック事務所 平成23年度事務職2年目研修、大阪、2011年6月

中島 伸：脳外科二次救急を開始して。第20回法円坂地域医療フォーラム、大阪、2011年6月

中島 伸：ワールド・カフェとは？国立病院機構本部 平成23年度医師共同宿泊研修、裾野（静岡）、2011年9月

中島 伸：日常診療に生かす脳神経外科の知識。大阪市阿倍野区医師会学術講演会、大阪、2011年9月

中島 伸：ワールド・カフェとは？平成23年度近畿ブロック副看護師長新任研修、大阪、2011年10月

中島 伸：日常診療に生かす神経学的所見のとり方。平成23年度日本医師会生涯教育講座病院実習、大阪、2011年10月

中島 伸：ワールド・カフェとは？平成23年度近畿ブロック医療技術研修「インフォームド・コンセント研修会」、大阪、2011年11月

中島 伸：インフォームド・コンセントと患者満足度。平成23年度近畿ブロック医療技術研修「インフォームド・コンセント研修会」、大阪、2011年11月

中島 伸：医療事故後の警察対応。平成23年度良質な医師を育てる研修「医療事故発生後の対応シミュレーション」堺（大阪）、2011年11月

中島 伸：記者会見の準備。平成23年度良質な医師を育てる研修「医療事故発生後の対応シミュレーション」堺（大阪）、2011年11月

中島 伸：ワールド・カフェとは？国立病院機構近畿ブロック事務所 平成23年度医療安全管理研修会、堺(大阪)、2011年12月

中島 伸：事故に学ぶ医学知識。国立病院機構近畿ブロック事務所 平成23年度医療安全管理研修会、堺(大阪)、2011年12月

中島 伸：日常診療に役立つ脳神経外科の知識。大阪市生野区医師会学術講演会、大阪、2012年1月

中島 伸：開示に耐えうるカルテ記載について。南和歌山医療センター、平成23年度医療安全研修会、田辺(和歌山)、2012年2月

中島 伸：脳脊髄液減少症。平成23年度大阪市教育センター養護教諭・養護職員研修会(2)、大阪、2012年3月

山崎麻美：日常診察において見逃してはいけない虐待の症状～子どもの頭部外傷をみたときの注意点～虐待と事故との鑑別について～。大阪女医会特別講演会、大阪、2011年4月

山崎麻美：小児虐待の現状と対策。聖マリア病院 虐待対策委員会、福岡、2011年11月

山崎麻美：児童虐待による頭部外傷。第1回大阪子ども虐待医学勉強会、大阪、2011年11月

山崎麻美：医療面からの児童虐待未然防止について～子どもの脳を守る～(小児脳神経外科医の報告)。児童虐待に係る医療機関との連携のためのフォーラム、京都、2011年11月

山崎麻美：小児虐待について。第29回奈良県院内移植コーディネーター会議、奈良、2011年12月

山崎麻美：児童虐待予防と診断について(小児脳神経外科の立場から)。第二回京都第一赤十字病院児童虐待対策委員会および倫理委員会主催講演会、京都、2012年2月

金村米博：ヒトiPS細胞の実用化を支援する周辺技術開発。次世代医療システム産業化フォーラム、大阪、2011年5月

金村米博：臨床の現場から。市民公開セミナー がん免疫細胞治療の最前線、大阪、2011年9月

金村米博：悪性脳腫瘍に対するテモダールと活性化自己リンパ球療法および樹状細胞ワクチン療法の使用経験。南大阪最先端医療研究会、大阪、2011年10月

埜中正博：脳形成異常について(遺伝子)。小児神経外科教育セミナー(小児神経外科のABC)、東京、2011年5月